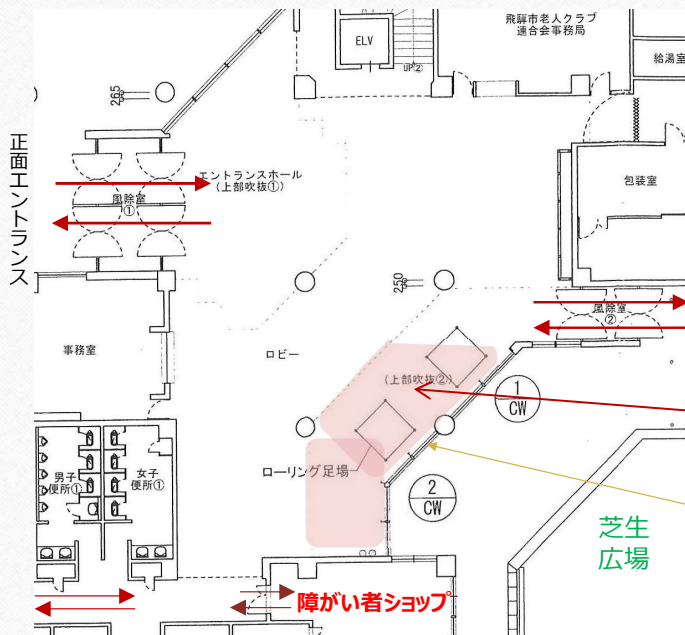


ふらっとまちライブラリー設置場所 古川町総合会館1階ロビー



飛騨市 総合福祉課
地域生活安心支援センターふらっと
が開設するまちライブラリー

ふらっとまちライブラリー

芝生広場を望むガラス張りで
気持ちのいい眺めのロビー

ふらっとの「まちライブラリー」にかける思い

- 人はそれぞれに違って同じ人はいません。個性や考え方、価値観等、ほんとに多様です。
- 地域社会と関わるのが得意な人いれば、苦手な方もいます。でもみな同じ地域で共生しています。
- 社会とのかかわりが苦手、自分を上手に表に出せない、人と直接かかるとすごく疲れる。こうした皆さんでも尖った光る個性や感性、感覚、またこだわりの趣味等人間味や興味深い持ち味を持ってらっしゃいます。
- こうしたみなさんが無理せず静かに地域で自己表現でき、社会との関わりが得られる、共感する人を感じることができる機会創出の場となることを願ってふらっとまちライブラリーをつくりたいと思っています。
- 近年生きづらさを抱えた方の居場所が必要と叫ばれ、様々な居場所の形がまちにも増えてきました。
- でもそれでも居場所の持てない方も多く、もっと楽に社会と交流できる別の居場所の在り方を視点を変えて模索する必要を感じており、ここに課題を感じていました。
- このまちライブラリーもそうした無理なく社会とかかわれる「居場所」の一形態として、自然体で、肩の力を抜いて社会、地域と関われる新たな居場所の形として、こうした場を求める方々の一助として普及していくためのきっかけにしていければと思っています。

ふらっとまちライブラリー

開設の流れ

R5年11月24日 プレオープン

- ・障がい者ショップ開設と同時オープンとします。
- ・プレオープンは、ひとまず安価な本棚等現状の予算等で用意できるもので会場の準備します。
- ・本棚には、市で声掛けした市職員始め関係者だけで「試行オーナー」として区画本棚を埋めていきます。

【試行オーナー】

不登校・ひきこもり者等社会とのかかわりに困難を抱えている方、生きづらさを抱える方々の支援関係者、市職員、古川中学校生徒、E d o関係者・E d o主催プロジェクト参加生徒、母子等支援関係者

場所を実際に設け、市民の皆さんの反応、試行オーナーの反応等みながらオーナー一般募集のこと、本の貸し出しのこと、空間づくり、コンセプト等を検討します。

R6年夏以降に グランドオープンとしていきたいと考えています。

ふらっとまちライブラリー

～小さな本棚の図書を通じてだれでも参画できる新たなコミュニティ～

自身で興味を抱いている分野の本。本を通じて世の中に伝えたい気持ち。共感を求めたい気持ち。まちライブラリーの1箱本棚で好きな本を通じて自分の趣味や世界感、伝えたいことを自由に表現し、本を通じて、語らず、しゃべらず静かに自身の思いを社会に発信できます。

見に来た方は、各本棚から各本棚オーナーが持つ世界感を感じ取ってください。オーナーがどんな思いを持つ方かイメージを膨らませてください。読みたい本があったらその本を読むことでオーナーとの共感の世界が深まります。

ふらっとでは、皆さんそれぞれに違う多様な個性や考え方、価値観等が尊重され、社会と関わるのが得意でも苦手でも、同じフィールドで共生し、無理なく静かに交流することで苦手な方にも社会との関わりが得られ、その楽しさが感じられる機会創出の場となることを願っています。

ふらっとまちライブラリーをきっかけに飛騨市内にも「私もやってみたいな」と思った市内のいろんな団体・法人・個人がいろんなコンセプトのまちライブラリーを開いていき、まちでライブラリー巡りができたり、まちライブラリー同士の交流イベントができたりするとか、自由にいろんな自己表現のできるまちになっていくといいなと期待しています。